

合成樹脂配管の消防庁告示基準に基づく試験項目・内容及び基準について

試験項目・内容		基準(圧力の値は最高使用圧力を1.2MPaとした場合)
外観・寸法等	外観・構造・表示	欠陥がないこと
	内径・外径・全長寸法	申請図書公差内
漏れ	0.1MPaの水圧を3分間	漏れを生じないこと
耐圧	最高使用圧力の1.5倍の水圧を3分間加え、加圧前後の外径を測定	漏れ等無いこと 試験圧力1.8MPa加圧前後の外径変化1%未満
破壊	最高使用圧力の4倍以上で破壊する圧力(4倍までの加圧時間60秒)又は4倍以上10MPaで1分間	破壊圧力4.8MPaを超えること
水撃圧	0MPaから最高使用圧力の3.5倍の圧力の変動を1回/秒で100回の後、0.1MPaを3分間、1.5倍を3分間	4.2MPa100回後、漏れ・耐圧試験合格
曲げ	最大支持間隔の2倍長さに支持した後、最大使用圧力を加えた状態で支持間隔の配管内充填量の荷重を1分間	最大支持間隔 試験圧力1.2MPa 荷重後漏れ等無いこと
引張強度	管等の長手方向に荷重を加える	引張荷重1kN以上
押しつぶし	温度2°Cで24時間放置後、1kNの荷重を5分間の後、0.1MPaを3分間、1.5倍を3分間	1kN荷重後、漏れ・耐圧試験合格
衝撃	-18°C、0°C、20°Cに24時間放置後、質量0.5kgの重錘を高さ1.5m(管継手は0.75m)から落下させる。その後に0.1MPaを3分間、1.5倍を3分間	落錘後、漏れ・耐圧試験合格
長期静水圧	最高使用圧力の水圧力で50°Cに1000時間放置の後に0.1MPaを3分間、1.5倍を3分間	漏れ等無いこと 試験圧力1.8MPa加圧前後の外径変化1%以下
繰り返し温度	最高使用圧力の水圧力で2°C、40°Cに24時間放置を5回の後、0.1MPaを3分間、1.5倍を3分間	漏れ等無いこと 試験圧力1.8MPa加圧前後の外径変化1%以下